

さいたま市インフルエンザ週報(速報)

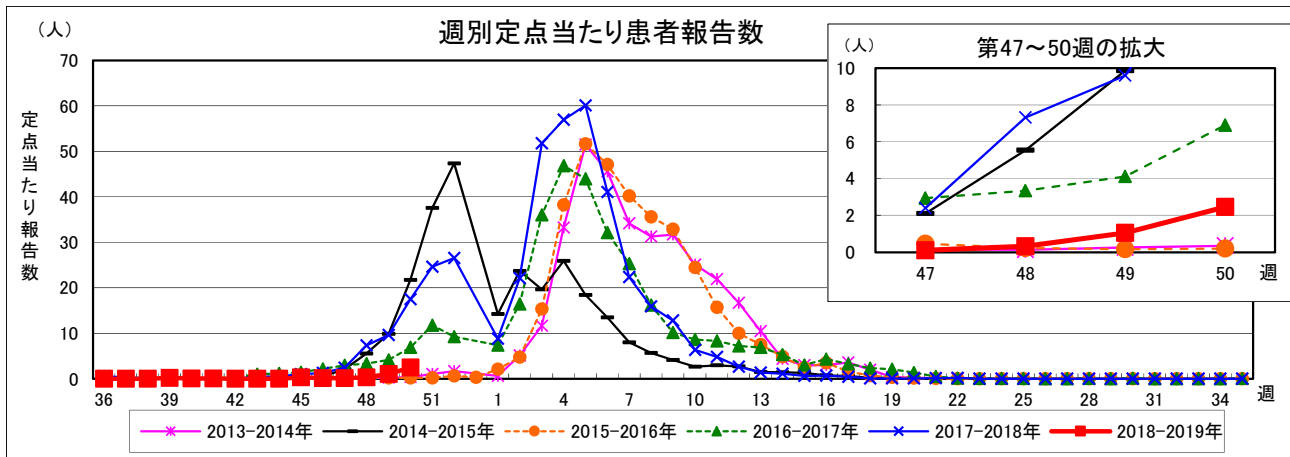
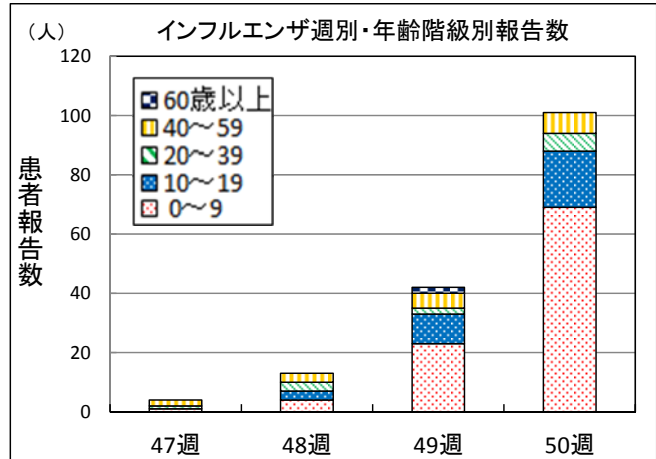
2018-2019 年シーズン 第 50 週(12 月 10 日～12 月 16 日)

1 市内のインフルエンザ患者報告状況

定点医療機関(小児科 27 ヶ所、内科 14 ヶ所)からの患者報告数は101人、定点当たり報告数は先週の1.05人から2.46人と増加しました。流行開始の目安となる「定点当たり1人」を超えています。

埼玉県内の定点当たり報告数は2.86人です。

予防及び感染拡大防止のため、手洗い、咳エチケットを励行しましょう。



2 インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等

第 50 週は、学級閉鎖 3 学級(緑区 1 校、大宮区 1 校、北区 1 校)の報告がありました。

3 市内病原体定点等からのインフルエンザ検体ウイルス検出状況

インフルエンザ検体のウイルス検出状況(2018年第50週)

検体採取週	検体数 (患者数)	陽性数 (患者数)	インフルエンザウイルス			
			AH1 pdm09	A香港	B山形 系統	Bビクトリ ア系統
18年第36週 ～18年第46週	0	0	0	0	0	0
2018年第47週	0	0	0	0	0	0
第48週	0	0	0	0	0	0
第49週	1	1	0	1	0	0
第50週	3	3	2	1	0	0
合計	4	4	2	2	0	0

市内で直近の4週間(第47週～第50週)に採取された4検体から、AH1pdm09が2件、A香港型が2件検出(PCR)されました。

国立感染症研究所ウイルス分離・検出速報(12月18日作成版)によれば、第46週～第49週に全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09が87件(76.3%)、A香港型が26件(22.8%)、B型が1件(0.9%)でした。

※病原体定点の先生方には、引き続き検体採取のご協力をお願いします。

★「さいたま市インフルエンザ週報」は、原則として患者報告が定点当たり1人を超えた際に作成しています。

★平成30年12月18日13時現在の速報です。後日データの修正をすることがあります。